

## 人権集会 校長講話【11月28日（木）】「いのちと人権」について

みなさん、こんにちは。11月は「ありがとう強化期間」に、1年生から6年生全員で取り組んできました。いつも、2年生4名の職員玄関の掃除、栽培委員会のみなさんの草花の手入れ、体育委員会の体育小屋の掃除、保健委員会のシャボネットの補充、放送委員会の校内放送、もったいない委員会のすばらしい活動など、諸川小学校のために見えないところで一生懸命活動しているんですね。見ていてとっても気持ちがいいです。いつもありがとう。

さて、今日は、「いのちと人権」、ということについてお話をします。とても大切な話なのでしっかり聞いてください。

みなさん一人一人には、たった一つの大切な「いのち」があります。みなさんのお家の人たち、そして、ここにいる先生たちは、みなさんのたった一つの大切な「いのち」が輝いてほしいと願って、みなさんのことを育てています。

学校で勉強を頑張っている姿、友達と一致団結して行事をやりとげようとしている姿、友達と楽しく遊んでいる姿、それらは、みんなの「いのち」が輝いている姿です。

では、みなさんが「いのち」を輝かせるためには、どんなことが必要でしょうか。それは、みなさんが、この笑顔のように、いつもニコニコしていて、元気でいることなんです。心がいつもニコニコしていて元気だと、学校での勉強も友達との生活も楽しくなって、「いのち」を輝かせることができます。

ところが、例えば、学校に来て、友達から悪口を言われる、いじわるをされる、友達から暴力を振るわれる、仲間外れにされる、大切な物がなくなるなど、もし、こんなことが学校に来て、あったらどうでしょう。安心して、気持ちよく過ごすことはできません。心配でしょうがありません。

つまり、友達の「人権」を大切にするとするのは、自分の周りにいる友達がいつもニコニコ笑顔で元気でいられるように、「思いやりの気持ちをもって友達と接すること」「自分がやられて嫌なことを友達にしないこと」です。

もし自分が友達から悪口を言われたら嫌な気持ちになります。だから、友達には悪口を言わない。

もし、友達から仲間外れにされたら、悲しい気持ちになります。だから、友達を仲間外れにしたりしません。

ぜひ、諸川小のみなさんには、友達の「人権」を大切にする子になってほしいんです。そこで、まずは、友達を傷つけるような「言葉遣い」をしていないか、考えてみてください。「バカ」「死ね」「ウザイ」「殺す」相手を深く傷つけるような汚い言葉をつかっていませんか。絶対に使ってはいけません。

今年の人権週間のキャッチコピーは、『「誰か」のことじゃない。』です。「いじめブレーキ」を正しく使い、安心して安全な学級をつくっていくのは、学級の「誰か」じゃなく、「自分」なのです。このブレーキが壊れてしまうと、いじめは暴走します。そうすると、いじめの矢が「誰か」ではなく、「自分」に向かってくるかもしれません。自分たちの学級のブレーキは壊れていないか、「人権週間」の間に、点検をしてみてください。今度の日曜日から12月です。12月は、世界中で、「いのちと人権」を考える月間です。自分の学級で、担任の先生と一緒に、「いのちと人権」を大切にすることについて考えてみてください。